

専門医として知っておきたい 性分化疾患の基礎知識

企画にあたって

私が泌尿器科医になろうと思ったきっかけは、学生時代に性分化機構に魅せられたことでした。1990年に *Sry* (sex determining region on Y) 遺伝子が Y 染色体の短腕に同定され、翌年にマウス XX 個体の受精卵に *Sry* を遺伝子導入することにより、性転換が引き起こされたことから、*Sry* が精巣決定因子であることが報告されました。私が医学部 5 年生であった 1993 年に、性分化疾患の講義で初めて知る疾患に驚き、さらに *Sry* 遺伝子の発見によりその発症機構が解明される可能性があることを聴いて、神秘的な性分化の世界に引き込まれたことを今でもはっきり覚えています。

泌尿器科医になり、大学院に行くことを希望しましたが叶わず、臨床研究医という立場で大学外の研究機関を自ら探し研究するよう命じられました。苦労した挙句、基礎生物学研究所教授（現九州大学教授）の諸橋憲一郎先生に辿り着き、自ら手紙を書き研究することを許可されました。そして、1997 年から諸橋教授のもとで性分化機構についての研究をしました。残念ながら研究は完遂できず、中途半端な状態で涙を飲んで臨床医に戻りましたが、間違いなく現在の研究や臨床に対する思考性は、あのときに養われたと信じています。

さて、性分化疾患と出会った医学部 5 年生のときから四半世紀を経て、このたび本誌で「専門医として知っておきたい 性分化疾患の基礎知識」を企画させていただけたのは万感の思いです。諸橋教授をはじめ、分子生物学者、小児科医、精神科医、そして泌尿器科医のトップランナーをお願いしたところ、快く執筆を引き受けていただきました。性分化疾患の基礎から臨床まで、泌尿器科医が知っておくべき知識がほとんど網羅されていると思います。ぜひお手元にとって、性分化疾患の深みを堪能していただければ幸いです。

福島県立医科大学医学部
泌尿器科学講座

小島 祥敬